

柱梁仕口要領図		A1: 1/20 A3: 1/40	
A	C1, C5系		
注) () 内は、オイルダンパーが接続する場合を示す。			
B	C2, C3系		
注) () 内は、オイルダンパーが接続する場合を示す。			
C	C4系		
注) () 内は、オイルダンパーが接続する場合を示す。			
D	梁フランジ板厚≧40		
1. PL-Aは、取付く柱フランジの3サイズアップ以上かつ取付く梁フランジ最大板厚の7mm増し以上とする。 (タイプDの場合は、梁断面表に記載の板厚以上が前提)			
2. PL-Bは、取付く梁フランジの1サイズアップ以上、同材質とする。			
3. PL-Cは、取付く柱フランジ(上下階で厚いフランジ)の同厚以上、同材質とする。			
4. PL-Dは、取付く柱及び梁ウェブの最大板厚の1サイズアップ以上、同材質とする。			
5. PL-Eは、PL-Aと同厚、同材質とする。			
6. PL-Fは、SM490A材とし、オイルダンパーが接続するアイソレータ部はt=22、それ以外はt=19とする。			
7. PL-Gは、取り付く柱ウェブの最大板厚の1サイズアップ以上かつ取付く梁ウェブの最大板厚以上、同材質とする。			
E	C1, C5系 (アイソレータ直上)		
注) () 内は、オイルダンパーが接続する場合を示す。			
F	C2, C3系 (アイソレータ直上)		
注) () 内は、オイルダンパーが接続する場合を示す。			
G	C4系 (アイソレータ直上)		
注) () 内は、オイルダンパーが接続する場合を示す。			
H	仕口に於ける基本事項		
1. PL-Aは、取付く柱フランジの3サイズアップ以上かつ取付く梁フランジ最大板厚の7mm増し以上とする。 (タイプDの場合は、梁断面表に記載の板厚以上が前提)			
2. PL-Bは、取付く梁フランジの1サイズアップ以上、同材質とする。			
3. PL-Cは、取付く柱フランジ(上下階で厚いフランジ)の同厚以上、同材質とする。			
4. PL-Dは、取付く柱及び梁ウェブの最大板厚の1サイズアップ以上、同材質とする。			
5. PL-Eは、PL-Aと同厚、同材質とする。			
6. PL-Fは、SM490A材とし、オイルダンパーが接続するアイソレータ部はt=22、それ以外はt=19とする。			
7. PL-Gは、取り付く柱ウェブの最大板厚の1サイズアップ以上かつ取付く梁ウェブの最大板厚以上、同材質とする。			
着工 平成 28年 6 25 竣工 令和 元年 11 30 監理 施工		監理 日建・上田特定監理業務等共同企業体 施工 大成・大旺新洋特定建設工事共同企業体	
完成図 構-68		日建・上田特定設計委託業務 共同企業体	
高知市都市建設部公共建築課		高知市新庁舎建設工事	
担当 担当 係長 課長補佐 副参事 課長		鉄骨要領図 (1)	
NO		0-140004-B	